

平成21年度

決算の審査から

今定例会初日に平成21年度決算についての議案が上程されました。これを受け、議会では一般会計、特別会計の両決算について2つの特別委員会を設置し、平成21年度予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどの審査を行いました。

一般会計の歳入決算額は、579億6千316万円で、前年度比7.3%の増、対する歳出決算額は552億2千506万円で、前年度比5.8%の増でした。歳入は、平成20年度の世界的経済危機の影響から、市税全体で大幅な減収となりましたが、国の定額給付金事業による国庫補助金の増により39億3千601万円の増となりました。また、国からの地方交付税は、普通交付税が6年連続で不交付となりました。一方、歳出は、定額給付金事業のほか、生活保護費などの扶助費の増及び市立病院経営健全化のための財政支援などにより、30億1千872万円の増でした。

また、特別会計は、歳入総額が418億9千61万円で、前年度比4.7%の減であり、歳出総額は419億7千689万円で、前年度比5.0%の減となりました。

一般会計及び特別会計決算は、委員会審査の後、本会議においても慎重に審議を行い、採決の結果、すべて認定しました。各会計の審査・審議状況は後段のとおりです。

一般会計決算

平成21年度一般会計決算特別委員会(委員長・中谷好幸委員、副委員長・窪田知子委員)は、9月15日、16日、17日の3日間にわたって開催し、正副委員長のもと、平成21年度一般会計決算について慎重な審査を行いました。

委員会では、予算執行に見合うだけの行政効果があったのか、会計経理上の過誤や不適切な支出がなかったのか、財産の管理は適正に行われたのかなどについて、延べ47人の委員が225件の質疑や行政への提言・指摘を行いました。

主な質疑は、次のとおりです。

○税の滞納者の実態を把握する過程で、生活保護などの支援制度につなげていく対応や取り組みはなされているのか

○市立病院経営分析・経営改善支援業務の委託について、分析の結果とそれに対する市の考えを問う

○災害時要援護者避難支援プランの内容と地域の避難訓練とのかわりはどうか

○就労支援事業の実績を上げるための市の考えは

○乳がんの集団検診における受診者からの感想はどのようなものか、また、今後定員を増加させる考えはあるのか

○35人学級について、学校整備計画を含んだ日野市の全体的な構想を問う

○国の交付金、補助金を活用した市の事業の実績を問う

委員会最終日の17日、総括質疑の後、採決を行った結果、平成21年度一般会計決算は賛成多数で、「認定すべきもの」と決しました。

9月27日の本会議において、中谷好幸委員長が審査報告を行いました。また、4名の議員が一般

平成21年度 主要な施策

①経済危機対策、雇用創出に向けた取り組み	4億3,415万円	・市内企業支援(生活道路舗装改良、学校施設整備) ・雇用対策(放置自転車対策、公園遊具点検、公園・生活道路維持修繕など)
②子育て支援施策の充実	57億2,498万円	・私立幼稚園の入園料5,000円補助開始 ・待機児解消の取り組み・栄光平山台保育園(定員0~3歳児30人)開園 ・基幹型児童館2館(あさひがおか、さかえまち)整備、学童クラブ分設化など
③高齢者介護事業の充実・障害者の自立支援・市民の健康サポート	28億8,320万円	・地域包括支援センターを市内9カ所に設置 ・障害者の仕事機会の創出、福祉人材の育成と確保 ・新型インフルエンザ対策、妊婦健診補助拡大、がん検診の拡大など
④市立病院改革プランの推進	14億2,026万円	・医師、看護師確保で全床(300床)稼働体制完了 ・占床率の向上63.0%→74.9% ・救急医療の受け入れ拡大、医療機器の更新など
⑤学校教育の充実	23億7,009万円	・四小校舎増築、一中改築終了 ・旭が丘小、三沢中屋内運動場耐震補強工事 ・特別支援学級の開設(東光寺小・二中) ～情緒障害のある児童・生徒一人ひとりに適切な教育支援など
⑥地球温暖化対策「ふだん着でCO ₂ をへらそう事業」のさらなる推進	6,938万円	・「ふだん着でCO ₂ をへらそう」宣言者数の拡大(18,296世帯、468事業所) ・エコひいきな街づくり事業(太陽光発電システム設置補助・LED街路灯設置工事) ・平山小太陽光発電設置工事など

特別会計決算

平成21年度特別会計決算特別委員会(委員長・古賀壯志委員、副委員長・古池初美委員)は、9月21日に開催し、正副委員長のもと、7つの特別会計決算について審査を行いました。

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、老人保健、介護保険、後期高齢者医療、市立病院事業の各会計順に行い、各委員から様々な質疑や行政への意見・

提言・指摘がありました。主な質疑・意見は、次のとおりです。

○医療制度改革による一般会計の負担の変化について問う(国民健康保険)

○保留地処分状況から現在の事業規模を進めていくことについて、市の考えを問う(土地区画整理事業)

○経済状況が悪く、保留地処分がだぶついている中、新たに川辺堀之内地

会計決算への意見を述べ、今後の行政運営に反映するよう要請を行いました。その後、採決が行われ、

平成21年度一般会計決算は賛成多数により認定しました。

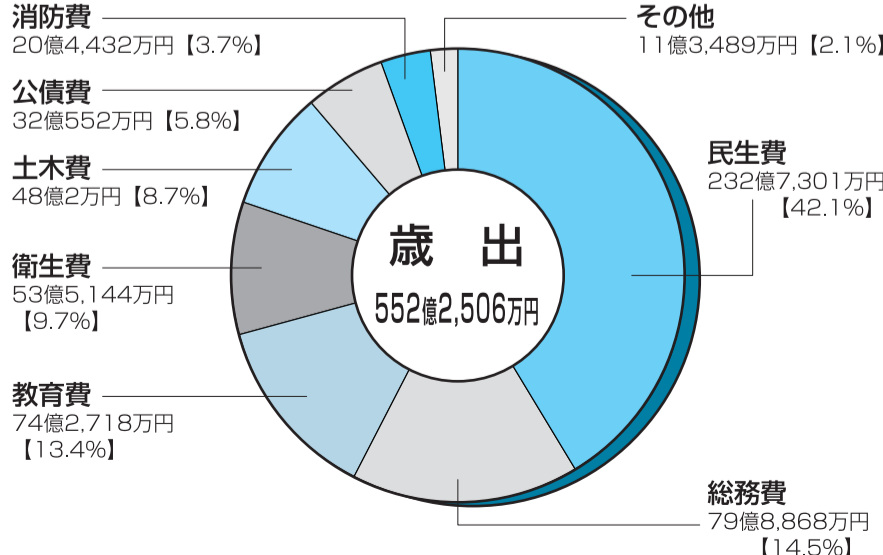
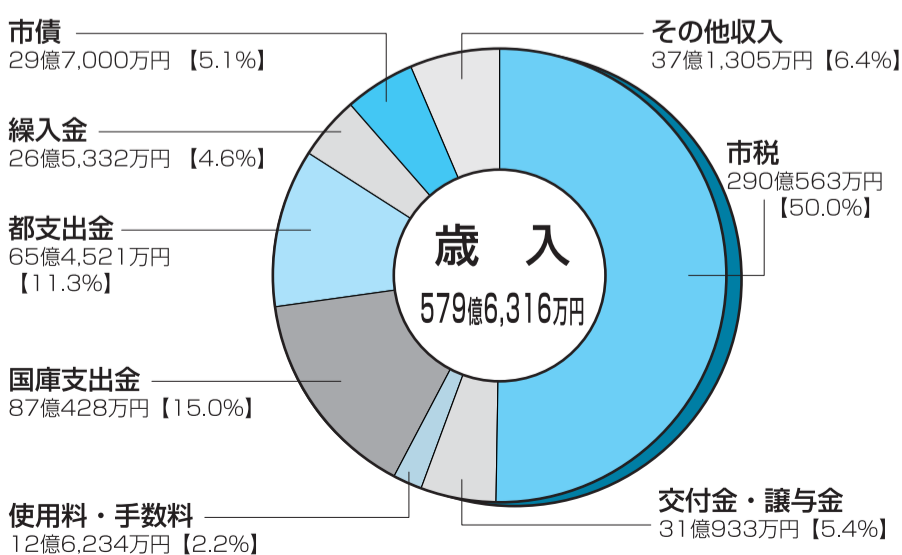
委員では慎重審査の結果、7会計中6会計が全会一致、土地区画整理事業特別会計については賛成多数により、「認定すべきもの」と決しました。

9月27日の本会議において古賀壯志委員長が審査報告を行い、委員会の審査結果同様、土地区画整理事業特別会計は賛成多数で認定し、平成21年度の各特別会計決算はすべて認定しました。

会計別	平成21年度決算				
	歳入	対前年度比(%)	歳出	対前年度比(%)	
一般会計	579億6,316万円	7.3	552億2,506万円	5.8	
特別会計	418億9,061万円	△4.7	419億7,689万円	△5.0	
内訳	国民健康保険特別会計	153億4,802万円	△0.2	152億5,401万円	△0.2
	土地区画整理事業特別会計	29億2,568万円	△25.5	27億6,415万円	△28.4
	下水道事業特別会計	52億9,619万円	△14.6	52億8,787万円	△14.2
	老人保健特別会計	3,467万円	△96.6	2,779万円	△97.2
	介護保険特別会計	91億975万円	5.4	89億8,477万円	8.6
	後期高齢者医療特別会計	24億8,508万円	9.0	24億5,715万円	8.6
	市立病院事業会計	66億9,122万円	9.6	72億115万円	4.4
合計	998億5,377万円	1.9	972億195万円	0.8	

平成21年度 一般会計決算構成図

※【 】内は構成比(平成22年3月31日現在人口:174,572人)



市民一人当たり 332,030円

市民一人当たり 316,345円